PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number:

2000-125537

(43) Date of publication of application: 28.04.2000

(51)Int.CI.

H02K 41/03

F16C 29/02

(21)Application number: 10-307797

(71)Applicant: SHIRATA SEISAKUSHO:KK

JAPAN SCIENCE & TECHNOLOGY

CORP

(22)Date of filing:

15.10.1998

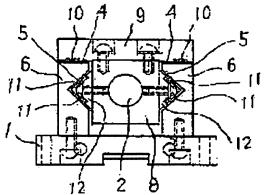
(72)Inventor: SHIRATA YOSHIHARU

HORIKIRIGAWA KAZUO

(54) NON-LUBRICANT LINEAR PULSE MOTOR APPLICABLE FOR DIFFERENT LOADS (57)Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To obtain a linear pulse motor which is of non-lubricant but obtains straight-ahead thrust with agility, stability, low friction and low wear with small operation energy and free of maladjustment of the gap between shaft (magnet) and exciting coil due to aging, and enables selecting one of optimal sliding structures according to loading weight.

SOLUTION: A coil bobbin 8 with an exciting coil wound thereon is fit onto the outer face of a shaft (magnet) 2 fixed on a base with play, and a mover 9 for mounting a carrying member is installed on the upper face of the coil bobbin 8. The mover 9 and the coil bobbin 8 or only the bobbin 8 is engaged with a pair of guide rails 6, placed on both the side of the shaft 2 and facing opposite to each other, with frictional bodies 10 and 11 made of wood ceramics inbetween, so that the mover 9 and the coil bobbin 8 or only the coil bobbin 8 is engaged to slide freely.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

27.12.2001

Date of sending the examiner's decision of

rejection

Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

3627045

[Date of registration]

17.12.2004

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

Copyright (C); 1998,2003 Japan Patent Office

(19)日本国特許庁(JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11)特許出願公開番号 特開2000-125537

(P2000-125537A)

(43)公開日 平成12年4月28日(2000.4.28)

(51) Int.Cl.7

識別記号

FΙ

テーマコード(参考)

H02K 41/03 F16C 29/02 H 0 2 K 41/03

A 3J104

F 1 6 C 29/02

5H641

審査請求 未請求 請求項の数6 FD (全 8 頁)

(21)出願番号

特願平10-307797

(71)出願人 597099542

株式会社白田製作所

(22)出願日

平成10年10月15日(1998.10.15)

山形県天童市大字山口1650

(71)出願人 396020800

科学技術振興事業団

埼玉県川口市本町4丁目1番8号

(72)発明者 白田 良晴

山形県山形市六日町 6-48-201 グリ

ーンハイツ 203

(72)発明者 堀切川 一男

山形県米沢市松が崎3-1-21

(74)代理人 100070390

弁理士 鈴木 秀雄

最終頁に続く

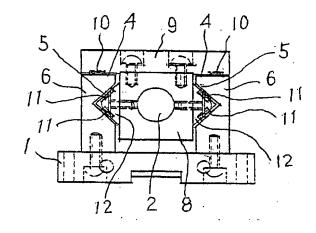
(54) 【発明の名称】 荷重別対応型無潤滑リニアパルスモータ

(57)【要約】

【課題】無潤滑でも低摩擦, 低摩耗で小さな動作エネルギーで軽快に安定した直進推力が得られ、経年変化によるシャフト(磁石)と励磁コイル間の空隙の狂いがな

く、積載重量に応じて最適な摺動構造のものを選択でき 使用上経済的なリニアバルスモータを提供する。

【解決手段】基台に固定したシャフト(磁石)外面に励磁コイルを巻装したコイルボビンを遊嵌し、コイルボビンの上面に搬送部材を搭載する可動子を取り付け、可動子及びコイルボビン、又は単にコイルボビンをウッドセラミックスからなる摩擦体を介して前記シャフトの両側に対向配設した一対のガイドレールに摺動自在に係合する。



【特許請求の範囲】

【請求項1】床面に据え付けた基台上面中央部に長手方 向に沿って支持枠を介してシャフト(磁石)を適宜高さ に固定配設し、とのシャフトの両側でその長手方向に沿 って基台上面の対称位置に一対のガイドレールを対向配 設し、前記シャフトの外面に励磁コイルを筒体外面に巻 装したコイルボビンを遊嵌し、そのコイルボビンの両端 鍔部上面に機械要素等の搬送部材を搭載する可動子を固 定配設するとともに、この可動子及びコイルボビンとガ イドレールとを可動子及びコイルボビンに配設した木質 10 系多孔質炭素材料のウッドセラミックスからなる摩擦体 を介して摺動自在に係合せしめたことを特徴とする荷重 別対応型無潤滑リニアバルスモータ。

【請求項2】可動子及びコイルボビンとガイドレールと の前記摩擦体を介した摺動機構として、一対のガイドレ -ルの内側面側にV形切欠摺動溝を形成し、可動子の左 右両側下面に前記摩擦体を固定配設するとともに、コイ ルボビンの両端鍔部の両側外面に端面三角形状の傾斜二 面に前記摩擦体を固定配設した又はその傾斜二面の内上 面の傾斜面に前記摩擦体を固定配設せしめた摺動部材を 20 取り付け、可動子及びコイルボビンを前記摩擦体を介し て一対のガイドレールの上面及びV形切欠摺動溝に摺動 自在に係合せしめたことを特徴とする請求項1記載の荷 重別対応型無潤滑リニアパルスモータ。

【請求項3】可動子及びコイルボビンとガイドレールと の前記摩擦体を介した摺動機構として、一対のガイドレ ールの内側面側に鉤形(L形)切欠摺動溝を形成し、可 動子の左右両側下面に前記摩擦体を固定配設するととも に、コイルボビンの両端鍔部の両側外面に方形状の上面 と側面外部に前記摩擦体を固定配設した摺動部材を取り 30 付け、可動子及びコイルボビンを前記摩擦体を介して一 対のガイドレール上面及び鉤形 (L形) 切欠摺動溝に摺 動自在に係合せしめたことを特徴とする請求項1記載の 荷重別対応型無潤滑リニアバルスモータ。

【請求項4】床面に据え付けた基台上面中央部に長手方 向に沿って支持枠を介してシャフト(磁石)を適宜高さ に固定配設し、このシャフトの両側でその長手方向に沿 って基台上面の対称位置に内側面側にV形切欠摺動溝を 形成した一対のガイドレールを対向配設し、前記シャフ トの外面に励磁コイルを簡体外面に巻装したコイルボビ ンを遊嵌し、そのコイルボインの両端鍔部上面に機械要 素等の搬送部材を搭載する可動子を固定配設するととも に、コイルボビンの両端鍔部の両側外面に端面三角形状 の傾斜二面に木質系多孔質炭素材料のウッドセラミック スからなる摩擦体を固定配設せしめた摺動部材を取り付 け、このコイルボビンをその摩擦体を介して一対のガイ ドレールのV形切欠摺動溝に摺動自在に係合したことを 特徴とする荷重別対応型無潤滑リニアパルスモータ。

【請求項5】一対のガイドレールとして、内側面側に鉤

ビンの両端鍔部の両側外面に取り付けた摺動部材とし て、方形状の上面と側面外部に前記摩擦体を固定配設せ しめたものを用いたことを特徴とする請求項4記載の荷 重別対応型無潤滑リニアパルスモータ。

【請求項6】ガイドレールの上面と側面摺動溝に沿っ て、又はガイドレールの側面摺動溝に沿って摺動自在に 係合する摩擦体として、木質系以外の植物の多孔質炭素 材料を原材料としウッドセラミックスと同様な製造方法 で得られるその他の植物性セラミックスを用いたことを 特徴とする請求項1,2,3,4又は5記載の荷重別対 応型無潤滑リニアパルスモータ。

【発明の詳細な説明】

[0001]

【発明の属する技術分野】本発明は、シャフト(磁石) と励磁コイル間に発生する電磁推力を直進推力に変換し て、各種の機械要素等の搬送やXYテーブル等に広く用 いられるリニアパルスモータに関するものである。 して特に、直進摺動機構の部材(素材)と構造に工夫を 施し、無潤滑でも低摩擦、低摩耗で小さな動作エネルギ - で軽快に安定した直進推力が得られ、経年変化による シャフトと励磁コイル間の空隙の狂いがないとともに、 積載重量に応じて最適な摺動構造のものを適宜選択でき 使用上経済的であるリニアパルスモータに係るものであ る。

[0002]

【従来の技術】従来のリニアパルスモータとしては、基 台に固定したシャフト(磁石)をガイドとして搬送部材 を載せたキャリッジをそれに沿って直進摺動させるもの があった。 また、その直進摺動を、ボールやコロやロ -ラ-を介して転がり摺動させて行う、或は銅、アルミ 系, チタン系, マグネシウム系合金等の各種金属の合金 を素材とした摩擦体を介して摩擦摺動させて行ってい た。

【0003】しかし斯かる場合には、前記摺動機構部の 素材の関係で、耐摩耗性に優れず、摩擦抵抗及びその係 数変動が比較的大きく, 直進速度の増加に伴う摩擦振動 の抑制機能にも優れず、安定した好適な摩擦特性が得ら れないため、安定した動作精度が得られず、運転に大き な動作エネルギーを要する。 また、潤滑油を必要とす る関係上、その機能が低下するところや損なわれるとこ ろでは使用が困難で、使用場所や使用条件に制約が伴 う。 更に、摺動機構部の構造上、機械的に脆い性質を 有するシャフト(磁石)をガイドとしてそれに直接荷重 をかけて運転しているため、経年変化によりシャフト (磁石)と励磁コイル間の空隙に狂いが生じそれを一定 に保持することが困難となり、その結果使用に伴い直進 推力にバラツキが生じ、摺動機構部やシャフトに異常消 耗や振動、騒音が発生し、安定した動作精度が得られな 更にまた、積載する荷重の軽重に応じて摺動機構 形(L形)切欠摺動溝を形成したものを用い、コイルボ 50 部の構造を合理的になすとの工夫が施されていないた

め、積載荷重に応じた選択使用ができず使用上経済的で ないとの難点を有していた。

[0004]

【発明が解決しようとする課題】本発明は、前記従来技 術が有する摺動機構部の素材や構造に伴う種々の難点を 解消することを課題とする。 即ち、無潤滑でも低摩 耗、低摩擦の安定した摩擦特性が得られ、経年変化によ るシャフト (磁石) と励磁コイル間の空隙の狂いがな く、常に安定した直進推力と動作精度が得られ、運転に 大きな動作エネルギーを必要としないとともに、積載荷 10 の搬送部材を搭載する可動子を固定配設するとともに、 重の軽重に応じ最適な構造の摺動機構部のものを選択使 用することができ使用上経済的で、耐久性にも優れる荷 重別対応型無潤滑リニアパルスモータを提供することを 目的とする。

[0005]

【課題を解決するための手段】前記目的を達成するため に本発明は、先ず第1に、可動子に搭載する積載荷重が 重荷重又は中荷重の場合に対応するべく、床面に据え付 けた基台上面中央部に長手方向に沿って支持枠を介して シャフト(磁石)を適宜高さに固定配設し、このシャフ トの両側でその長手方向に沿って基台上面の対称位置に 一対のガイドレールを対向配設し、前記シャフトの外面 に, 励磁コイルを筒体外面に巻装したコイルボビンを遊 嵌し、そのコイルボビンの両端鍔部上面に機械要素等の 搬送部材を搭載する可動子を固定配設するとともに、と の可動子及びコイルボビンとガイドレールとを可動子及 びコイルボビンに配設した木質系多孔質炭素材料のウッ ドセラミックスからなる摩擦体を介して摺動自在に係合 せしめてリニアパルスモータを形成したことを特徴とす る。

【0006】前記の可動子及びコイルボビンとガイドレ ールとの上記摩擦体を介した摺動機構の更に具体的構造 としては、一対のガイドレールの内側面側にV形切欠摺 動溝を形成し、可動子の左右両側下面に前記摩擦体を固 定配設するとともに、コイルボビンの両側外面に、端面 三角形状の傾斜二面(両斜辺部)に前記摩擦体を固定配 設した又はその傾斜二面の内上面の傾斜面に前記摩擦体 を固定配設せしめた摺動部材を取り付け、可動子及びコ イルボビンを前記摩擦体を介して一対のガイドレールの 上面及び側面のV形切欠摺動溝に摺動自在に係合せしめ たことを特徴とする。 前記コイルボビンに取り付けた 端面三角形状の摺動部材の上面側の傾斜面のみに前記摩 擦体を固定配設したものは、特に積載荷重が中荷重の場 合の使用に適する。

【0007】また、ガイドレールに設けた前記V形切欠 摺動溝に替えて鉤形(L形)摺動溝となし、コイルボビ ンの両側外面に、上面と側面外部に前記摩擦体を固定配 設した方形状の摺動部材を取り付け、可動子及びコイル ボビンを前記摩擦体を介して一対のガイドレールの上面 及び鉤形(し形)切欠摺動溝に摺動自在に係合するよう 50 る。

になす場合もある。

【0008】第2に、軽荷重の積載荷重の場合に対応す るべく、床面に据え付けた基台上面中央部に長手方向に 沿って支持枠を介してシャフト(磁石)を適宜高さに固 定配設し、このシャフトの両側でその長手方向に沿って 基台上面の対称位置に内側面側にV形切欠摺動溝を形成 した一対のガイドレールを対向配設し、前記シャフトの 外面に激磁コイルを筒体外面に巻装したコイルボビンを 遊嵌し、そのコイルボビンの両端鍔部上面に機械要素等 コイルボビンの両端鍔部外面に端面三角形状の傾斜二面 (両斜辺部) に木質系炭素材料のウッドセラミックスか らなる摩擦体を固定配設せしめた摺動部材を取り付け、 このコイルボビンをその摩擦体を介して一対のガイドレ -ルのV形切欠摺動溝に摺動自在に係合せしめてリニア パルスモータを形成したことを特徴とする。即ちこの場 合には、上記の重荷重又は中荷重用のものと異なり、可 動子の左右両側下面に摩擦体を配設する必要がないとと もに可動子の幅を可及的に短尺となし小型化を図ること ができ、それだけ摺動機構の構造を簡潔なものとなし又 部材の節約を図ることができる。

【0009】またこの場合、ガイドレールに形成する摺 動溝として、鉤形(L形)切欠摺動溝を用い、そしてこ れに摺動自在に係合するコイルボビンに取り付けた摺動 部材として、方形状の板体の上面と側面の二面に前記摩 擦体を固定配設せしめたものを用いる場合もある。

【0010】更に、前記ガイドレールの上面と側面摺動 溝に沿って, 又は単にガイドレールの側面摺動溝に沿っ て摺動自在に係合する摩擦体としては、木質系以外の植 30 物の多孔質炭素材料を原材料(素材)とし上記ウッドセ ラミックスと同様な製造方法で得られるその他の植物性 セラミックスを用いる場合もある。

[0011]

【発明の実施の形態】別紙図面(図1乃至図13)に基 づき本発明の実施の形態の一例について説明する。

【0012】図1、図2、図3は、本発明に係る荷重別 対応型無潤滑リニアパルスモータの実施の形態の一例を 示す正面図、平面図、縦断側面図で、主として積載荷重 が重過重の場合に供するものである。 1は床面に据え 付けた基台で、その上面中央部には、その長手方向に沿 ってシャフト(磁石)2が軸受け用支持枠3,3を介し ネジ止めにより適宜高さに固定配設されている。 この シャフト2の両側で基台1上面の対称位置に、上面を水 平摺動面4となし側面にV形切欠摺動溝5を形成した一 対のガイドレール6, 6がV形切欠摺動溝(切欠凹部) 5を内側としてネジ止めにより適宜間隔適宜高さに対向 配設されている。 シャフト2の形状は円筒形、角筒形 いずれでもよい。 ガイドレール6.6の材質は、非磁 性の鋼材が望ましく、SUS304の鋼材が適してい

(4)

【0013】シャフト2の外面には、長円筒外周面に長 手方向に沿って励磁コイル7を巻装したコイルボビン8 が遊嵌されている。 その長円筒の筒体両端部には中央 部にシャフト2の挿通孔を有する方形状取り付け鍔部が 形成されており、このコイルボビン8の両端鍔部上面に は、機械要素等の搬送部材をネジ止めして搭載する長方 形板体状の可動子9がネジ止め固定されている。 可動 子9の素材は、アルミニウム又はその合金の押し出し成 型品を加工して用いる。 コイルボビン8の素材は、電 気的に絶縁性である合成樹脂の成型品を用いるが、励磁 10 コイル7が完全に絶縁処理されている場合には、軽合金 を用いても良い。

【0014】可動子9の左右両側下面には、上部摩擦体 10,10がその先端部を外部に突出する状態で埋設固 定されている。コイルボビン8の両端鍔部の両側外面に は、端面三角形状(三角柱凸部)のV形傾斜二面(上下 両斜辺部) に側部摩擦体11,11をその先端部を外部 に突出する状態で埋設固定した摺動部材12,12がネ ジ止め固定されている。 そして可動子9は、その左右 両側下面に固定配設された上部摩擦体10,10を介し 20 て一対のガイドレール6、6の上部水平面4、4に対し それに沿って摺動自在に係合されており、またコイルボ ビン8は、左右両側に取り付けた摺動部材12,12の V形凸部上下傾斜二面に固定配設された側部摩擦体1 1,11を介して一対のガイドレール6,6のV形切欠 摺動溝5,5のV形凹部上下傾斜二面に対しそれに沿っ て摺動自在に係合されている。前記の上部摩擦体10と 側部摩擦体11は、自己潤滑作用を有する木質系多孔質 炭素材料を素材とするウッドセラミックスを用いてい る。 このウッドセラミックスは、耐摩耗性、振動抑制 30 機能、耐久性に優れ、軽量で強靭で摩擦抵抗が極めて小 さい等優れた摩擦特性を有している。実際には特に、 木材等の木質系多孔質炭素材料にフェノール樹脂を含浸 させた硬質ガラス状炭素を約30%以上含有させ、これ を真空炉で約800度C以上の温度にて焼成したものを 用いる。

【0015】以上の説明のとおり従って図10のように 上部摩擦体10と側部摩擦体11を所定に装着した可動 子9とその下面に固定のコイルボビン8を、図11のよ うに、コイルボビン8がシャフト2の外面に遊嵌する状 40 て受ける。 態で上部摩擦体10と側部摩擦体11を介して一対のガ イドレール6、6上面の水平摺動面4、4と側面の切欠 摺動溝5,5に対し摺動自在に係合させて組み立てセッ トすると、シャフト2外周面と励磁コイル7の内周面と の間の空隙は所定の設定値αに設定される。

【0016】シャフト2と励磁コイル7間に発生する電 磁推力が直進推力に変換されて、可動子9と励磁コイル 7を装着したコイルボビン8はシャフト2の長手方向に 沿って直進運動をするが、可動子9に加えられた積載荷

6,6の上部水平摺動面4,4にて受け止められ、また コイルボビン8及び可動子9に対し発生するおそれのあ る上下および左右方向への偏心作用や回転作用は、摺動 部材12,12の三角(V形)凸部上下傾斜二辺に配設 の側部摩擦体11,11とガイドレール6,6のV形切 欠摺動溝5,5 におけるV形凹部上下傾斜二辺との摺動 自在な係合により確実に規制される。従って可動子9に かかる積載荷重やその動作時の偏心荷重がシャフト (磁 石) 2に加えられることはなく、そして上部摩擦体10 と側部摩擦体11は低摩耗, 低摩擦, 強靭で振動抑制機 能に優れるウッドセラミックスを用いているので、シャ フト2と励磁コイル7との間の空隙は経年変化による狂 いのおそれがなく常に前記所定の設定値αに一定に保持 され、積載荷重が重荷重であっても常時安定した直進運 動がなされる。

【0017】積載荷重が中荷重程度の場合には、図4に 示す如く、摺動部材12,12の三角凸部の下部傾斜面 に側部摩擦体を配せず、上部傾斜面に配設の側部摩擦体 11、11とガイドレルール6、6のV形切欠摺動溝 5,5の上部傾斜面との摺動係合によっても、充分に可 動子9とコイルボビン8に対する上下, 左右方向の偏心 作用と回転作用が規制され、安定した直進運動が得られ る。 可動子9にかかる積載荷重は、前記の場合と同様 に、上部摩擦体10,10とガイドレール6,6上面の 水平摺動面4,4との摺動係合によって受ける。

【0018】図5は、積載荷重が重荷重又は中荷重の場 合に対応する更に他の実施例を示すもので、前記の場合 とガイドレールの切欠摺動溝と側部摩擦体を配設する摺 動部材の形状を異にする。 即ちこの場合には、ガイド レール6,6の内側面側に鉤形(L形)切欠摺動溝1 3, 13が形成されており、一方, コイルボビン8の両 側外面には方形状の摺動部材14,14が固定されてそ の上面と側面外部に側部摩擦体11、11が固定配設さ れていて、この側部摩擦体11,11と鉤形(し形)切 欠摺動溝13,13との摺動係合により、可動子9とコ イルボビン8に対する上下,左右方向の偏心作用と回転 作用の規制がなされる。 可動子9に対する積載荷重は 前記の場合と同様に、上部摩擦体10、10とガイドレ -ル6,6上面の水平摺動面4,4との摺動係合によっ

【0019】図6及び図7は、積載荷重が軽荷重の場合 に対応するものである。 即ちこの場合には、図示のよ うに、可動子15の下面に上部摩擦体を配設しなくて も、ガイドレール6、6のV形切欠摺動溝5,5におけ る上下傾斜二面と摺動部材12,12の三角凸部上下傾 斜二面に配設の側部摩擦体11,11との摺動係合によ り、充分に積載荷重を受け、且つ可動子15とコイルボ ビン8に対する上下,左右方向の偏心作用や回転作用の 規制をなすことができる。 そのため可動子15の幅を 重は上部摩擦体10,10を介して一対のガイドレール 50 可及的に短尺となし装置の小型化を図ることができる。

30

7

なおこの場合、ガイドレール6、6の切欠摺動溝を図5の鉤形(L形)切欠摺動溝13、13と同様のものとなし、そしてこれに呼応させて摺動部材を方形状の摺動部材14、14と同様のものとしその上面と側面外部に側部摩擦体11、11を固定配設させて、その切欠摺動溝と側部摩擦体を摺動係合させるようになしても差し支えない。

【0020】上記実施形態に係る無潤滑リニアパルスモ タを従来装置と比較して動作テストをしたところ、図 12及び図13で示されるとおり両者の顕著な相違と本 10 発明装置における安定した摩擦特性が見られた。同図か ら分かるように、潤滑油を用いた従来装置では起動時及 び運転時を通して摩擦係数が比較的高く(0.2以 上),振幅の大きな且つ小刻みな摩擦変動があり安定性 に欠けるのに対し、潤滑油を用いない(無潤滑な)本発 明装置では低摩擦(0.1乃至0.15以下程度)で摩 擦変動もなく安定している。 これは本発明装置で用い る摩擦体がウッドセラミックスであり、それ自体自己潤 滑作用を有し摩擦係数が極めて小さいという摩擦特性を 持っているからである。 また図13から明らかなよう に、本発明装置では摩擦速度(摺動速度)が増加するに つれて摩擦係数が僅かづつ増加する特性を示しており、 そのため従来装置と異なり摺動速度の増加に伴う摩擦振 動を抑制する機能にも充分に優れている。 更にウッド セラミックスの材質上、耐摩耗性及び耐久性にも優れて いる。

【0021】なお、可動子と摺動部材に配設しガイドレールの切欠摺動溝と摺動係合する摩擦体としては、上記に示したウッドセラミックスの代わりに、木質系以外の植物の多孔質炭素材料、例えば竹、籾殻、米糠等を素材としてウッドセラミックスと同様に炭化焼成して形成されたその他の植物性セラミックスを用いても差し支えない

[0022]

【発明の効果】本発明は上記の構成となしたので、上述の従来技術の摺動機構部の素材と構造に起因する種々の 難点を解消して、以下に示す特有の効果を奏する。

【0023】請求項1に係る発明では、従来装置と異な

りシャフト(磁石)をガイドとせず積載荷重や偏心荷重 更には回転作用等の外力は、可動子とコイルボビンに配 40 設した低摩耗、低摩擦の安定した摩擦特性を有するウッドセラミックスからなる上部摩擦体及び側部摩擦体とガイドレール上面及び側面との摺動係合により受け止め且 つ規制(吸収緩和)するようになしたので、シャフト (磁石)に荷重がかからず摺動機構部やシャフトに異常消耗、振動、騒音等による悪影響が発生することがないとともに、シャフト(磁石)と励磁コイルとの間の空隙に経年変化による狂いが生ぜず同空隙を常に設定した値に一定保持することができ、励磁コイルに発生する電磁

し動作精度が良好である。 とのものは摺動機構の構造 上、主として積載荷重が重荷重又は中荷重の場合の使用 に適する。そして、ウッドセラミックスからなる摩擦体 は、前記の低摩耗、低摩擦に加えて、摩擦速度(摺動速 度) の増加につれて摩擦係数が僅かづつ増加する性質を 有しているので、直進摺動速度の増加に伴い発生する摩 擦振動を確実に抑制することができ、その結果、従来に 比し小さな動作エネルギーでも軽快で安定した直進摺動 を長期に渡って維持することができ、耐久性並びに使用 上好適である。また、前記摩擦体の素材の特性上、騒音 やガタツキの発生のおそれも少なく、機械的剛性の面で も問題がなく、自己潤滑作用があり潤滑油を必要としな いため温度制限や環境等の使用上の制約も伴わず、給油 設備やその維持・管理等の手間と費用を節約することが できる等経済的な使用と使用の広範化を図ることができ る。

【0024】請求項2に係る発明では、可動子に配設の 上部摩擦体及び端面三角形状の摺動部材の傾斜二面に配 設の側部摩擦体とガイドレールのV形切欠摺動溝との摺 動係合により,積載荷重,偏心荷重,回転作用等の外力 の受け止めと規制を図っているので、請求項1に係る発 明に比し一層安定した直進推力が得られ、繰り返し動作 精度が良好である。 このものもその摺動機構の構造 上、主として積載荷重が重荷重又は中荷重の場合の使用 に適する。 そして,端面三角形状の摺動部材の傾斜二 面のうち上面にのみ側部摩擦体を配設したものにおいて は、積載荷重が中荷重の場合の使用に適する。

【0025】請求項3に係る発明においては、可動子に配設の上部摩擦体及び方形状の摺動部材上面と側面に配設の側部摩擦体とガイドレールの鉤形(L形)切欠摺動構との摺動係合により,積載荷重,偏心荷重,回転作用等の外力の受け止めと規制を図っているので、請求項3に係る発明と同様に安定した直進推力が得られ、繰り返し動作精度が良好である。 このものもその摺動機構の構造上、主として積載荷重が重荷重又は中荷重の場合の使用に適する。

【0026】請求項4に係る発明においては、ガイドレールのV形切欠摺動溝と端面三角形状の摺動部材の傾斜二面に配設した側部摩擦体との摺動係合により、積載荷重、偏心荷重、回転作用等の外力の受け止めと規制を図っているので、可及的に可動子の幅の短縮と装置の小型化並びに部材の節約を図ることができ、積載荷重が軽荷重の場合の使用に適する。請求項5に係る発明においては、ガイドレールに鉤形(L形)切欠摺動溝を形成し、これに方形状の摺動部材上面と側面に配設した側部摩擦体を摺動係合させるようになしているので、請求項4に係る発明と同様な効果を奏し、やはり積載荷重が軽荷重の場合の使用に適する。

に一定保持することができ、励磁コイルに発生する電磁 【0027】請求項6に係る発明においては、可動子や 推力を安定した直進推力に変換することができて繰り返 50 摺動部材に配設する摩擦体として、上記ウッドセラミッ クスと同様な摩擦特性を有する木質系以外の植物の多孔 質炭素材料を素材とするその他の植物性セラミックスを 用いたので、上記請求項1乃至5に係る発明と同様な効 果を奏する。

【0028】更に本発明は以上のとおり、積載荷重の軽重に応じてガイドレールと摩擦体による摺動係合の構造 (摺動機構)を合理的に替えており、そのため積載荷重 に応じてそれに最適なものを適宜使い分けすることができ、製造並びに使用上の無駄を省き経済的である。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の1実施形態に係る荷重別対応型無潤滑リニアパルスモータ(重荷重又は中荷重用)の正面図である。

【図2】同平面図である。

【図3】同縦断側面図である。

【図4】他の実施形態に係る同リニアパルスモータ(中

荷重用)の正面図である。

【図5】更に他の実施形態に係る同リニアバルスモータ (重荷重又は中荷重用)の正面図である。

【図6】更に他の実施形態に係る同リニアパルスモータ 20 (軽荷重用)の平面図である。

【図7】同正面図である。

【図8】励磁コイルを筒体外面に巻装したコイルボビン の平面図である。

【図9】同縦断側面図である。

【図10】上部摩擦体と側部摩擦体を配設した可動子と コイルボビンの正面図である。 *【図11】摩擦体を配設した可動子とコイルボビンのガイドレールとシャフト(磁石)に対する組み立てセット 時の正面図である。

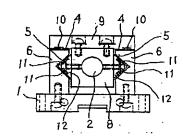
【図12】本発明装置(リニアバルスモータ)と従来装置との摺動機構部の摩擦距離に対する摩擦係数の変化を示す摩擦特性比較実験説明図である。

【図13】同摩擦速度(摺動速度)に対する摩擦係数の 変化を示す摩擦特性比較実験説明図である。

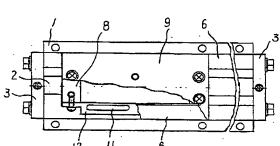
【符号の説明】

- 10 1 基台
 - 2 シャフト(磁石)
 - 3 支持枠
 - 4 水平摺動面
 - 5 V形切欠摺動溝
 - 6 ガイドレール
 - 7 励磁コイル
 - 8 コイルボビン
 - 9 可動子
 - 10 上部摩擦体
 - 11 側部摩擦体
 - 12 三角形摺動部材
 - 13 鉤形(L形)切欠摺動溝
 - 14 方形摺動部材
 - 15 可動子
 - α シャフト (磁石) 2 と励磁コイル7 との間の空 隙設定値

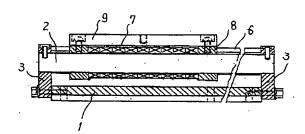
【図1】



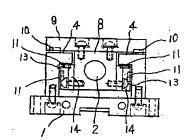
【図2】

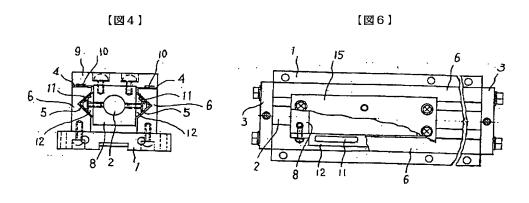


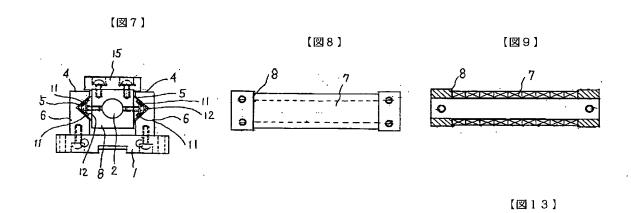
【図3】

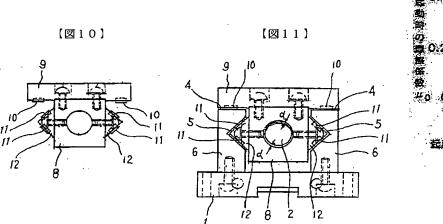


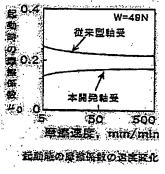
【図5】



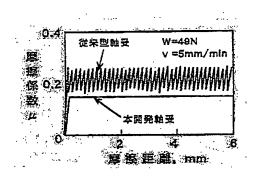








【図12】



フロントページの続き

Fターム(参考) 3J104 AA44 AA67 AA69 AA73 AA76

BA53 CA18 CA22 DA06 DA12

EA01 EA04

5H641 BB06 BB18 GG03 GG05 GG08

GG12 HH02 HH05 JA02 JA09

JA18 JA19

This Page is inserted by IFW Indexing and Scanning Operations and is not part of the Official Record

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images include but are not limited to the items checked:

[23	BLACK BORDERS
Ø	IMAGE CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
	FADED TEXT OR DRAWING
	BLURED OR ILLEGIBLE TEXT OR DRAWING
	SKEWED/SLANTED IMAGES
A	COLORED OR BLACK AND WHITE PHOTOGRAPHS
	GRAY SCALE DOCUMENTS
ø	LINES OR MARKS ON ORIGINAL DOCUMENT
	REPERENCE(S) OR EXHIBIT(S) SUBMITTED ARE POOR QUALITY
	OTHER:

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY. As rescanning documents will not correct images problems checked, please do not report the problems to the IFW Image Problem Mailbox